

H27.3現在 公民館施設耐震診断結果・補強工事状況一覧

公民館名	建設年度	構造	階数	延べ面積(m ²)	Is	診断年度	補強要否	補強工事年度
陶原	S48年 4月	RC	2	620.00	1.023	H25年1月	不要	
深川	S58年 3月	RC	2	402.54	新耐震		不要	
祖母懐	H15年 3月	S	1	729.78	新耐震		不要	
古瀬戸	S55年 3月	RC	2	412.59	0.68	H26年2月	不要	
東明	S56年 2月	RC	2	426.54	1.46	H26年2月	不要	
效範	S56年 2月	RC	2	708.60	0.73	H26年2月	不要	
長根	S52年 3月	RC	2	686.01	0.75	H26年2月	不要	
水南	S54年 3月	RC	2	409.01	0.73	H26年2月	不要	
水野	S53年 2月	RC	2	650.02	1.245	H25年1月	不要	
山口	S55年 2月	RC	2	745.04	1.245	H25年1月	不要	
幡山	S53年12月	RC	2	427.89	0.852	H25年1月	一部必要	H26(補強済)
下品野	S49年 3月	RC	3	873.57	0.408	H25年1月	必要	検討
掛川	S58年11月	S	1	152.91	新耐震		不要	
原山	S61年 3月	RC	2	405.00	新耐震		不要	
萩山	S61年 3月	RC	2	404.73	新耐震		不要	
八幡	S62年 3月	RC	2	404.87	新耐震		不要	

※RC:鉄筋コンクリート造 S:鉄骨造 RC+S鉄筋コンクリート造一部鉄骨造

※Is:構造耐震指標。建物の耐震性能を表す数値で、数値が大きいほど耐震性能がある。
国土交通省の判断基準ではIs=0.6未満の建物について、耐震補強の必要性があるとしており、
当調査もそれに準じて、判断している。

※新耐震:昭和56年6月施行の建築基準法以降に建設された建物で、耐震性がある。

※補強済:既に耐震補強工事を行い、Is=0.6以上の建物